

○大鳥大社の壁画事業について

①大鳥大社の南東側の外壁に落書きされてしまった。大鳥大社から西区役所に相談があり、この落書きを普通に消すだけでは面白くないので、大鳥大社の起源である日本武尊の逸話をイメージしたアートを子どもたちに描いてほしいという話があった。近くの子ども園等には大鳥大社から声掛けするが、子どもだけでは画力の問題もあるので、絵を描ける大学生を紹介してもらえないかというご相談をうけた。

②区役所から、構成員である大阪公立大学の松居さんに絵が得意な大学生を紹介してもらえないか相談すると、大学生の紹介は可能だが、大きな壁に絵を描くためのデザイン作成までは大学生では難しいというお話をいただいた。

③そこで鳳出身で、美術の個展をされている構成員の久山さんにデザイン作成を依頼したところ、快くご協力いただけることになった。

○この大鳥大社壁画アートは、役所が繋ぎ役となり、大鳥大社と政策会議の構成員や、地域の子ども、大学生が繋がることで、実現へ向け動いている事例である。今後は、実施に向け直接やり取りもしていただき、役所は、区の魅力発信という観点で、報道提供などの広報活動で関わっていく予定。

○今回の事例のように、構成員の皆様同士がつながり、西区を盛り上げるような新たな取り組みがこの会議から生まれることで、西区全体の魅力向上につながればと考えている。